

こんにちは！
めぐりん菜通信をお読みいただきありがとうございます。

今月号は、「生ごみ処理機の保守管理」「春の野菜果物」の記事をお届けします。

1年で一番寒い時期はもう終わりです。太陽も少しずつ元気になってきているのを感じます。
(担当: 斉藤)

生ゴミ処理機の保守管理

生ゴミ処理機のご不満に「メンテナンスに手間がかかる」ことがあります。豊田産業は、「売りっ放し」にせず、保守管理を一括で請ける用意がある点に優位性があります。

お客様に 願う事	抜き作業 (豊田産業)	初期化作業 (豊田産業)	ループ作り (豊田産業)
			
	野菜100%の場合 1回/稼動10日めど		
 微生物は稼働日に20g (オタマ半分)を投入	 お客様での対応も 可能		

「期待する効果がない」と放棄された機器は多くあります。一方処理コストの上昇は待ってくれません。生ゴミ処理機は、食品廃棄物処理コスト削減の有力な打ち手です。あわせ、衛生環境も一気に改善します。是非、ご提案の機会をいただけるようお願いいたします。

春の野菜・果物



春は年度で言えば、4月から、でも、気象で観れば3月から。梅の花が咲き、早咲きの桜の便りが届き始めました。春の走りです。

先日、社会福祉法人にお邪魔した際、就労支援として水耕栽培をされていました。そこで見つけたのがクレソン。露地では3月から出荷されます。



クレソン??…。ステーキの添え物として1本ヒョロっと付いている葉を思い出してください。和名、オランダガラシ、ピリッとした辛味と独特の香りが特徴のオトナ好みの野菜です。



めぐりん菜提携農家のタマネギも順調に育っています。3月は、新タマの時期です。地温を確保するため、黒いマルチを張り大切に育てます。真っ白な新タマ、生で食べれば、体が洗われます。